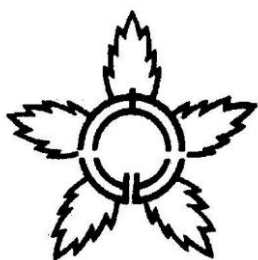


笑顔いっぱい大北小 みんなで育つ大北小



大北小だより

<http://www.ooizumi-n-e.nerima-tky.ed.jp/>

10月号

平成26年 9月 30日

練馬区立大泉北小学校

校長 小島 英樹

“衣食余りて、礼節を欠く”

校長 小島 英樹

『盲導犬、刺され大けが』

『全盲女子高生、背後から蹴られけが』

信じられないようなニュースが飛び込んできました。全盲という重大なハンディキャップを背負いながらも懸命に生き、前向きに社会生活を送っている人たちに対する常軌を逸した行動に啞然とするとともに、激しい怒りが湧いてきます。本来、保護されるべき社会的弱者に対する理不尽な攻撃を決して許してはなりません。

かつて日本には、次のような言葉がありました。

“武士は食わねど、高楊枝”

“ぼろは着てても、心の錦”

たとえ身なりは貧しく、食べ物にさえ事欠くことがあっても、決して人の道に外れるような恥ずかしい行動はせず、人から後ろ指を指されるような卑怯なまねはしないという日本人の心意気であり、生き方であり、美意識であり、矜持を表した言葉です。

今では死語となってしまった感さえある、“名もなく、貧しく、美しく”や“清貧”という言葉にも、貧しくとも懸命に生き、明日を目指して地道に努力する日本人の姿が表われていました。まさに、“衣食足らずとも、礼節を知る”のが日本人の生き方だったのです。

ところが世の中が豊かになり、欲しい物が手に入り、便利で快適な生活を送ることができるようになった現代社会において、『礼節を欠く』行動が増えてきたのは何故なのでしょう。電車の遅れに腹を立てて駅員に罵声を浴びせ暴力を振るったり、言葉巧みに人をだまして大金を振り込ませたり、聞くに堪えないようなヘイトスピーチで人の尊厳を貶めたり、感情的・一方的に自己の要求を突きつけたりと、枚挙に暇はありません。まさに“いじめ”や“差別”を生み出し、“暴力”や“自己中心的行為”を蔓延させるような現代の社会状況から、大切な子供たちを守らなければなりません。

いつの時代においても子供たちの健全な心を育むのは、その時代の大人の心がけと行動次第です。「殺すな、盗むな、嘘つくな」という人間として当たり前のことをしっかりと子供たちに教えるとともに、大人自らが日々実践し、人としてのあるべき姿を子供たちに示していくことが、今改めて重要です。

学校・家庭・地域が、それぞれの役割を果たし、子供たちに恥ずかしくない社会を引き継いでいくために、共に力を尽くしていきましょう。

育てよう練馬大根（3年生）

山川 美帆

3年生の総合的な時間の学習では、「子供たちが、地域を好きになる」ことを最大の目標としています。これまでに、地域自慢調べや安全マップ作りに取り組んできました。その学習の中で、練馬大根がとても有名であることを実感した3年生。今年も農家の白石さんをお願いし、農園で練馬大根を育てることとなりました。「ハウセンカの種みたいに練馬大根の種も丸いだね。」他教科で学習したことも、総合的な学習の時間で活かされています。

9月3日(水)、白石さんの農園で、種まきを行いました。どの子も真剣な表情で白石さんの話に聞き入っていました。種の植え方や練馬大根の大きさ、沢庵にするとおいしいことなどを教えてもらいました。26日(金)には、間引きをしました。小さな種から芽が出たことで、練馬大根の成長をみんなで喜びました。

今後は、練馬大根について調べ、収穫し、調理する予定です。地域の人に直接教えてもらうことで、感謝の気持ちや尊敬の心は芽生えます。また、地域に出掛け、体験学習をすることで、自分たちが住む地域のよさを知り、大切にしたいという思いも強くなります。地域を好きになることは、最終的には自分を好きになることに繋がります。大北小では、6年間を通じて、地域やそれに関わる自分を好きになれる子を育てています。



農家の白石さんに種の植え方を教えてもらう



大根の種をもらって、いよいよ種まき



大きく育つように祈りを込めて

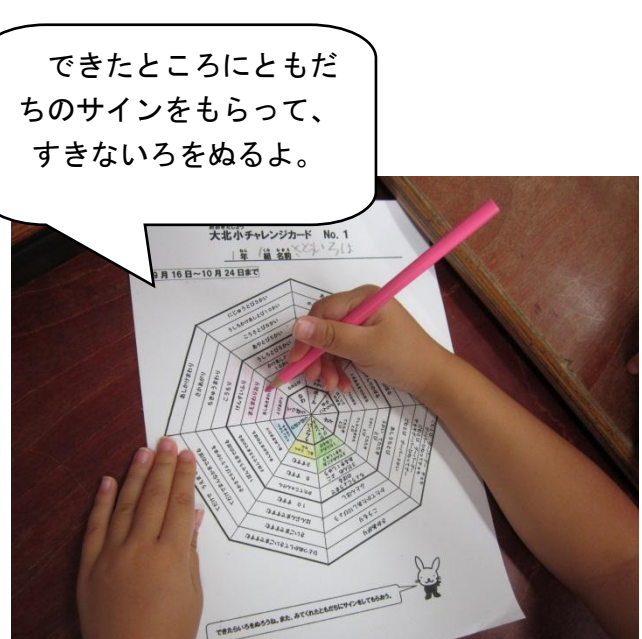


3週間後、大根の苗を観察・間引き

休み時間（1年生）

小池 千恵子

子供たちにもっと体を動かす楽しさを知ってほしい、いろいろな外遊びを体験してほしいという願いから、今年度は、全校で運動の日常化に取り組んでいます。その取り組みの一つとして、9月16日から10月24日は、『大北チャレンジカード』の技に挑戦する期間となっています。そこで、休み時間になるとチャレンジカードを片手に、のぼり棒・うんてい・ジャングルジム・鉄棒などに駆け寄っていろいろな技に挑戦しています。友達と技を見合い、できていたら友達に合格のサインをしてあげるので、「私のサイン、どんなのにしようかなあ」と自分のサインを決めたり、カードに好きな色を塗れたりすることも嬉しいようです。外遊びを楽しみ、友達と関わって仲良く体を動かすことにより、体力が高まるだけでなく、コミュニケーション能力も育まれていきます。これからも友達と元気いっぱい体を動かして遊びましょう！



◎今月の生活目標:あそびのきまりをまもろう じょうぶなからだをつくろう
友だちとなかよく遊ぼう

日	月	火	水	木	金	土
	9/29	9/30	1 都民の日	2 児童集会 1年生活科見学	3 5年岩井移動教室前検診	4
5	6 5年岩井移動教室始 全校朝会	7	8 5年岩井移動教室終	9 4年セーフティ 教室	10 安全指導日 5年セーフティ 教室	11 土曜授業公開 (月曜時間割) 手作り遊び集会 (1.2校時)
12	13 体育の日	14 読書旬間始	15 図書委員会集会 1・2年歯科検診	16 避難訓練(火事) 4年防災授業	17 B時程 3・4年歯科検診	18 大北まつり
19	20 クラブ⑨	21 5・6年歯科検診 2年セーフティ教室	22 けやき班遊び 4時間授業 (教育会全体 研究会のため)	23	24 1学期終業式 読書旬間終	25
26	27 2学期始業式 教育実習開始	28 1年遠足	29	30 音楽鑑賞教室	31 2年生活科見学	11/1

開校四十周年記念式典・祝賀会

すでに、9月16日にご案内をさせて頂きました。参加票の締め切りが10月10日(金)となっております。10年に一度の行事ですので、ご都合の付く方は、どちらか一方だけでも是非ご参加ください。

尚、お問い合わせはお気軽に 副校長 城崎 3925-5912までどうぞ。

副校長通信

うれしい報告

副校長 城崎 真

9月号の「うれしい言葉」の続編です。平泳ぎをマスターした子は、検定どうだったのかなあと実は気になっていました。こちらから聞けばいいことなのですが、受かっていなかったら・・・と思うと聞けませんでした。すると、ある一人の子が、「副校長先生が夏休みに教えてくれたおかげで平泳ぎ50m泳げました。ありがとうございました。」と報告してくれました。

「手作り遊び集会」

特活主任 丹呉 早由美

1年生から6年生までの各学年で構成されるけやき班の活動の1つに「手作り遊び集会」があります。「班のみんなで仲良く、楽しくおもちゃを作って遊べるように。」ということをお大切に、6年生は9月から話し合い準備を進めてきました。

このけやき班活動では、上学年が下学年に優しく接する姿にいつも微笑ましい思いを抱きます。このような異学年との交流が、心の優しさや相手を思いやる心、上学年としての行動を学ぶ大切な1つの場になっているのではないかと思います。

当日は、出来上がったおもちゃだけでなく制作途中の関わり合いや遊びでの様子もぜひご覧ください。